

## (公財) 日本体操協会

### 平成30年度第1回定時評議員会議事録

1. 日 時 平成30年6月24日(日) 13時00分～14時20分

2. 場 所 岸記念体育会館 5F 504-505会議室

#### 3. 出席者 <評議員>

##### 出 席

大島斎礼、早田卓次、加藤澤男、瀧澤康二、長谷川輝紀、林 直樹  
鷹西美佳、柳善二郎、長澤稔子、崇島慎一、慶野峰晴、大橋英記、  
渡邊一郎、渡辺栄一、望月克己、森令子、竹谷一、白石伸三、知念義雄

19名

##### 欠 席

コシノヒロコ、藤田正敏、山岸弘宜

3名

#### <理事・監事>

##### 出 席

二木英徳(会長)、塚原光男(副会長)、具志堅幸司(副会長)、  
山本宜史(専務理事)、竹田幸夫(監事)、高橋史安(監事)

6名

#### 4. 資料の確認

##### 審議事項

第1号議案 平成29年度事業報告

第2号議案 平成30年度決算報告

第3号議案 その他

#### 5. 権限審査

定款第5章第24条に基づき、本評議員会は定員評議員22名、本日は、コシノヒロコさん、山岸弘宜さん、藤田正敏さんの3名が欠席ですので、本日出席評議員は19名で、評議員会開催の定足数(過半数)11名に達していることを渡邊事務局長より報告した。

## 6. 二木会長ご挨拶

平成29年度事業の特に世界選手権の各種目の健闘に謝辞及び平成30年度の世界選手権大会における2020東京オリンピックへの出場権の獲得への期待表明した。

今年のFIGエアロビック世界選手権シングルにて、男女とも金メダル獲得。

8月前橋市開催のトランポリンワールドカップおよび、来年4月、11月開催のワールドカップ体操東京大会及びトランポリン世界選手権大会開催の案内を表明した。

## 7. 議長選出

定款第4章第16条の定めにより、評議委員会議長は、評議員の中から選出すると定められており、瀧澤康二評議員が議長に選出された。

## 8. 議事録署名人

定款第5章第26条に基づき、議長の瀧澤康二並びに林 直樹及び鷹西美佳評議員の3名を指名し、議場に諮り、全員異議なく承認された。

## 9. 審議事項

### 第1号議案 平成29年度事業報告

議長の指名により、渡邊事務局長は資料の説明を行った。

まず、平成29年度事業報告。

定款第4条（事業）をベースに公益目的事業および収益事業につき具体的に、詳細説明を行った。

#### 公益目的事業

##### 1. 国際貢献事業

- ・ FIG（国際体操連盟）、AGU（アジア体操連合）関係
- ・ 海外諸国からの日本合宿他

##### 2. 競技力向上・選手派遣事業

- ・ 各種目別派遣大会成績他

##### 3. 講習会・指導者養成・資格認定・検定事業

- ・ 審判講習会、第1種審判カテゴリー認定者数、国際審判Cコース
- ・ 各種講習会、公認審判員認定数、登録選手数等

##### 4. 競技会等開催事業

- ・ 国内各種目別大会、地域委員会関連、体操スクール事業関係

##### 5. 顕彰事業

- ・ 功労賞18名、栄光賞11名、最優秀選手2名、優秀選手18名  
優秀指導者10名、優秀審判表彰4名。

公益目的事業会計比率 83%

#### 収益事業

1. マーケティング事業
  - ・ スポンサー関連は現在 12 社。
  - ・ FIG 世界体操選手権大会 2017-2024 年 8 年契約、テレビ朝日
2. 出版物販売事業
  - ・ 各種採点規則、教本等の販売 21 百万円の売り上げ

議長は、事務局長の説明に対し、質問・意見の有無を議場に諮った。  
特に、意見もなく、第 1 号議案は、原案通り、承認・可決された。

#### 第 2 号議案 平成 29 年度決算報告書

議長の指名により、渡邊事務局長は、平成 29 年度決算報告について決算概要資料に則り、要点を説明した。

#### 正味財産増減計算書

予算収支 183,981 千円に対し、実績 208,229 千円となった。(113%)

|      | 予算        | 決算        | 前年度       | (単位：千円) |
|------|-----------|-----------|-----------|---------|
| 経常収益 | 1,214,566 | 1,482,995 | 1,411,583 |         |
| 経常費用 | 1,030,585 | 1,274,766 | 1,354,235 |         |
| 経常増減 | 183,981   | 208,229   | 57,297    |         |

- ・ 経常収益・経常費用の主要科目増減等について前年度比較にて説明。
  - 経常収益 前年度比 71,462 千円増加。
    - 事業収益 44,596 千円増加、受取補助金等 45,380 千円増加。
    - 登録料 9,531 千円減少、交付金等収入 3,285 千円減少他。
  - 経常費用 前年度比 79,469 千円減少。
    - 事業費 87,049 千円減少、管理費 7,580 増加。
- 平成 28 年度は FIG 総会や体操ニッポンエキシビション開催の為

#### 貸借対照表

- 総資産 723,656 千円で前年度比 264,699 千円増加。
- 期末正味財産 482,744 千円で、前年度比 208,229 千円増加。
- 正味財産比率前年度 59.8%から 66.7%へ 6.9%改善。
  - ・ 主要科目の内容につき説明。

その他 助成金等の状況、競技会・ドーピング関係、助成金等の推移、  
大会実績、正味財産・収支差額等の推移  
人件費実績推移等の管理資料の説明を行った。

・平成29年度トピックス

- ① 登録料収入の減少
- ② 体操スクール事業の収入減少

渡邊事務局長の説明後に、竹田幸夫監事より、監査報告書が読み上げられた。

以上の報告を受け、議長は質問・意見の有無を議場に諮った。

**1.大島斎礼評議員**より、下記ご意見が表明された。

①登録料について

この問題は、昔から出ている、現状の登録費納入人口は3万人、23万人（スポーツ傷害保険加入人員）は登録料を支払わない体操人口である。柔道、剣道等の昇段試験等あるいは、トランポリンのバッチテストのようなものを参考に、昔体操でやっていた1級から5級という体操協会の公認の資格等を検討する委員会等を立ち上げてはいかかがか。

②スポーツ団体におけるコンプライアンスについて

最近、スポーツ界における不祥事が、巷間、散見される。スポーツ議員連盟の第三者機関の整備の提言もある。一般企業の社外取締役でいうと、株主総会資料に、会議出席状況、発言内容等の記載がある。公益財団における法的なこれらの拘束はあるのかと高橋監事に質問があった。

⇒高橋監事；公益法人については、詳しくはわかりませんが、一般的には、これらについてはデスクローズする方向にある。詳細は別途調査の上、ご回答する。

**2.柳善二郎評議員**より、下記ご意見が表明された。

①公認会計士の検討事項の入場料について

会場が東京から高崎に変更になって、減収という表現になっているが、東京会場から地方への会場になったとの表現の方が望ましい。

②体操スクールの今後のありかたについて

少子化の影響で、子供たちの増加は難しい。健康寿命を考慮して、大人の領域まで踏み込んで、検討するのも一つの方法ではないか。

**3.長澤稔子評議員**より、下記ご意見が表明された。

①6/30-7/1 にかけて開催される全日本種目別選手権の日程について

この日程は、協会と高崎アリーナサイドで決定したと思いますが、当日は、群馬県の国体予選及び小学生総体の日程と重複しており、当日、県の体操関係者は、観戦・お手伝い等ができない。今後、協会、会場、県体操協会と連携をとって、進めて頂けるとありがたい、

⇒事務局長；なかなか難しい問題であるが、できる限り、担当機関と連携をとって進めていく。

### 3.加藤澤男評議員より、下記ご意見が表明された。

#### ①収益会計について

採点規則集等が、収益会計に区分されているが、これらは、体操の大切な財産である。この点をご理解頂きたい。

⇒事務局長；公益財団法人申請時に、出版物関係は、収益事業に区分して処理する旨の申請をしている。従って、収益会計事業に入れて表示しているもの。ご指摘内容はその通りである。

#### ②肖像権について

我々の時代は、肖像権はあまり、考慮されていなかった。昔の選手の肖像権は協会が管理したらよいのでは、ないか？

⇒事務局長；日本代表選手の肖像権は、従来、団体の3名以上の集団肖像のみを許諾していたが、昨年12月より、個人肖像権の解放を行った。但し、日本体操協会スポンサーとの契約カテゴリーがダブらないカテゴリーに限定している。個人肖像権は個人に帰属するので、使用の場合は、確認は本人に連絡される。

### 5.渡辺栄一評議員より、下記ご意見が表明された。

#### ①登録料について

小学生等のジュニア層を中心に体操の楽しさを植えつけ、(前転、後転等)、体操人口を増やす努力が必要。県レベルでは、1チーム程度しか選手を出せないところもある。他団体では、シニア層で、5,000名も楽しむ競技を実施している。これらを踏まえて、地道な改善が必要と思われる、

### 6.鷹西美佳評議員より、下記ご意見が表明された。

#### ①WC 東京について

4月に開催されたWC 東京大会での観客動員がすくなくて、せっかくのテレビ放映したのに残念。今後、動員増加等につき、検討して戴きたい。

会長、事務局長⇒今回は、時間的制約もあり、少なかった。改善指示しておるので、検討中。

以上の質疑を踏まえて、議長は、第 2 号議案の承認採決を議場に諮り、全員異議なく承認。第 2 号議案は原案どおり、承認・可決された。

### 第 3 号議案 その他

議長は、第 3 号議案その他に対し、議場に、質問等提案議題の有無について諮った。特に意見等もなかったので、以上にて本日の評議員会の閉会を宣言した。

議長は、すべての議案の終了を確認し、14 時 20 分に閉会を宣言した。

平成 30 年 6 月 24 日

議長 瀧澤 康二

議事録署名人 林 直樹

議事録署名人 鷹西 美佳